

カルクロン[®]

CALCHLON

登録番号 特殊肥料 山口県第299号

構造式 $\text{CaCl}_2 \cdot 2\text{H}_2\text{O}$
calcium dichloride

性状 類白色顆粒

有効成分 塩化カルシウム 72%以上

毒性 普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

包装 500g×20袋

■特長

1. 作物のカルシウム欠乏による、いろいろな症状に的確な効果があり、品質のよい作物が収穫できます。
2. 葉面からの吸収がよく、過湿または乾燥時で根が弱っている場合でも、高い効果が期待できます。



製品の詳細情報

■使用方法

(2023年9月27日現在)

適用作物名	主な欠乏症状	希釈倍数(倍)	水10ℓ当り葉量(g)	使用方法
トマト	果実の尻ぐされ症 新葉の黄化	200	50	葉面散布
はくさい、キャベツ	ふちぐされ、心ぐされ症			
たまねぎ、セルリー	心ぐされ症			
はなやさい	新葉の先枯れ症	300	33	
かぼちゃ、なす きゅうり	葉縁の黄白化			
かんしょ	新葉の黄化	200	50	
いちご	チップバーン			
りんご	ビターピット	200～500	50～20	葉面・果面に散布
ぶどう	新葉葉縁の葉焼け症	300	33	葉面散布
てんさい	心焼け症	200	50	
そらまめ	種子腐敗	350～700	14～28	播種床灌注

▲効果・薬害などの注意

1. 規定濃度はよく守ってください。濃過ぎると薬害の原因となり、薄いと効果が劣ります。
2. トマトの尻ぐされには開花時がもっとも有効ですから、第1、第2、第3花房の各第1花の開花時をねらって3回散布してください。
3. セルリー、かぼちゃ、かんしょ、ぶどうの場合は、若葉の症状に注意し、早めに散布を開始して、7～10日間隔で3～4回散布してください。
4. はくさい、キャベツのふちぐされ、心ぐされには早めに散布を開始して7～10日間隔に3～4回散布してください。特に結球するまでに散布することが必要です。
5. りんごでビターピットが発生する園では、6月上旬～7月中旬の間に7～10日おきに3～5回、果実に十分かかるように散布してください。
6. たまねぎの心ぐされの場合は地上部の症状では判断しにくいので、例年心ぐされの多い圃場では、倒伏期までに展着剤を加えて2～4回散布してください。
7. いずれの場合も散布が遅れると効果が出にくいので早めに散布してください。
8. 適期散布で効果があらわれない場合は、他の原因が考えられるので病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

保管：吸湿性が強いので、使用残りの薬剤は必ず密封し、乾燥した所に保管してください。万一吸湿して固まった場合でも、効果・薬害等には悪影響はありません。